

板野南小学校
「学力向上実行プラン」

研究テーマ

- ①聴く力・読む力・書く力を高める。(書くを重点的に)
- ②主体的に学習に取り組むことができる児童の育成

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員
研修主任

委員

校長



(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 文章を書く力が弱い。	①丁寧に視写することができる。 ②声に出してすらすら音読ができる。	全国調査・ステップアップテストの「言語事項」「数と計算」に関する事項について、平均正答率が70%を上回るようにする。	引き続き、漢字や計算のドリル学習を継続し、基礎・基本の定着を図る。算数では、授業の中で具体物の操作を取り入れていく。	学力アップタイムでは、漢字や計算のドリル学習や学級の学習進度に応じたプリントを使い、実施した。算数の授業では、具体物の操作をさせることに重点を置き、国語では、学年に合わせて、文字数など決めて書く時間を確保してきた。	学年により実態に違いがあるが、「言語事項」「数と計算」に関する事項について、正答率に伸びがみられ、平均正答率が全体として70%である。
課 題	①学力アップタイムでは、課題に集中して取り組ませる。 ②宿題での反復練習、音読カードやミニテストでの確認を継続的に行う。	①隔週で漢字と計算練習を10分間行う。月曜日は視写をする。 ②学習の進度に合わせて、その都度実施する。		評価 A	次年度における改善事項 ・学習習慣の向上のため学習規律を徹底する。 ・学習習慣チェックシートを活用し学習習慣を身につけさせる。 ・T、Tの指導や個別指導を改善し、支援方法を考える。

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 自分の考えを筋道を立てて的確に表現する力が不足している。	①人の話を考えながら、最後まで聴くことができる。 ②自分の考えをもち、筋道を立てて書いたり話したりすることができる。	「自分の考えや意見を伝える力がついている」と答える児童の割合を80%以上にする。	書く活動に重点を置きながら、現在の取組を継続していく。	自分の考えを発表するためにも、書く活動に重点を置く取組を実践してきた。ハンドサインを活用して友達の発言を聞き、絵や図、文章などを用いて自分の考えを説明できるように言語活動の充実に取り組んだ。	取組指標に沿った授業に取り組み、学校評価において「自分の考えや意見を伝える力がついている」と答えた児童は、昨年度より12%増加した。
課 題	①ペアやグループ学習を取り入れ、絵や図、文章などを用いて考えを説明する活動を行う。 ②授業の導入後、課題解決していくための見通しを立てる時間をとる。	①1日に1度は、ペアやグループ学習を行い自分の考えを筋道を立てて発表する機会をつくる。 ②研究授業を一人1回行う。		評価 B	次年度における改善事項 ・考える時間を保障し、考えたことを書かせることで言語活動の充実を図る。 ・一人一人が自分の考えをもち、学んだことを使って自力解決できる手立てを考えていく。 ・授業改善をめざした校内研修になるように計画、実践し、指導力の向上をめざす。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(めざす子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 運動や体験活動など興味関心をもった活動に積極的に参加し、努力を惜みず取り組むことができる。読書週間が定着しつつある。	①自ら調べ解決する学習過程を身につけ丁寧に、粘り強く課題に取り組むことができる。 ②望ましい生活習慣を身につけ気持ちよく学習に臨むことができる。	課題を意識して学習に取り組んでいると答える児童の割合を80%以上にする。	引き続き、児童が主体的に問題解決していくために見通しを立てることができるように授業改善に取り組んでいく。	練習問題などをしていっていると振り返りを書く時間が取れないこともあったが、毎回めあてをノートに書くことに取り組んできた。授業では、導入の段階で今までの学習を取り上げるなど見通しを立てることを大切に考え実践した。	めあての確認を行い、授業の振り返りは、学年の実態に合わせて書く指導を行い、課題を意識して学習に取り組ませることができた。
課 題 自分から課題や問題点を見つけたり、考えたりする意識が少なく、指示待ちになることが多い。健康的な生活習慣づくりが必要である。(早寝・早起き・朝ごはん・歩育)	①授業でめあてを提示し、課題を意識させるようにする。 ②保護者と連携しながら生活や学習習慣づくりを行う。	①毎回、ノートにめあてを書かせる。授業の振り返りを1行以上書かせる。		評価 B	次年度における改善事項 ・主体的に学習に取り組む児童を育成するため、引き続き、授業改善に取り組む。 ・相互に授業を公開しながら、改善策を練っていく。 ・めあてと振り返りを書く時間を保障し、授業では自己解決する場を作っていく。

平成29年度 学力向上ロードマップ

